



阿賀野川流域における光と影の歴史や文化、現在の様々な取組を、「大河」「公害」「大地」の3つの観点からまとめ、阿賀野川流域のSDGsを探ります。今回は、大河と大地が織りなしてきた、阿賀野川流域における持続可能な豊かさを、光と影の歴史とともに紹介する【大地編】です。

大河編

2023年制作

公害編

2024年制作

大地編

2025年制作

麒麟山の麓で合流する阿賀野川と常浪(とこなみ)川

新潟昭和株の排水口(山口冬人氏撮影)

阿賀町の山地から平野へと流れ出る阿賀野川

阿賀野川
えとこだ
プロジェクト

阿賀野川流域地域

令和7年度パネル巡回展

水と大地のSDGsをさぐる

大地編

新潟県(制作) あがのがわ環境学舎

水と大地が織りなしてきた持続可能な豊かさとは?

※SDGs(エスディーゼーズ)は、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。詳しくは裏面をご覧ください。

「阿賀野川流域におけるSDGsをさぐる」をテーマとしたパネル展を、下記の各施設で開催します。<観覧無料>

●パネル巡回展スケジュール

●開催期間 2026.1/7 ~ 3/31

展示期間	展示施設	展示時間・備考
1/7(水)~1/18(日)	安田ショッピングセンター ウインディ	9:00 ~ 19:00
1/10(土)~1/19(月)	新潟市秋葉区文化会館	9:00 ~ 21:30 1/13(火)休館
1/20(火)~2/2(月)	NEXT21 アトリウム	8:30 ~ 21:00 最終日18:00まで
1/21(水)~2/1(日)	阿賀野市立図書館	9:30 ~ 16:30 月曜休館
2/4(水)~2/18(水)	新潟市東区役所 南口エントランスホール	8:00 ~ 18:00 展示場所は1階エスカレーター脇
2/5(木)~2/16(月)	北方文化博物館 屋根裏ギャラリー	9:00 ~ 16:30 火曜休館 正門から入場
2/19(木)~3/5(木)	阿賀町役場鹿瀬支所	9:00 ~ 16:30 2/23(月)・土曜・日曜休館
2/20(金)~3/4(水)	新潟市北区文化会館	9:00 ~ 21:00 2/24(火)休館
3/7(土)~3/24(火)	江南区文化会館内 江南区郷土資料館	10:00 ~ 19:00 金曜休館 日曜10:00~17:00
3/7(土)~3/31(火)	道の駅「阿賀の里」	9:00 ~ 16:00
3/26(木)~3/29(日)	ラポルテ五泉 ガレリア	9:00 ~ 22:00 初日13:00から

臨時休館のため、展示期間が変更になりました。

主催:新潟県 共催:新潟市・五泉市・阿賀野市・阿賀町

企画
お問合せ先

あがのがわ
環境学舎

一般社団法人
あがのがわ環境学舎

〒959-2221 新潟県阿賀野市保田 3866 番地1 TEL&FAX 0250-68-5424

阿賀野川流域におけるSDGsを3つのパネル作品を通してさぐる



大地編

2025年制作

阿賀野川流域地域

水と大地のSDGsをさぐる

水と大地が織りなしてきた持続可能な豊かさは？

- 大河と大地が織りなしてきた、阿賀野川流域における持続可能な豊かさを、光と影の歴史とともに紹介します。

流域とSDGs / 流域の大地の特長 / 日本列島の誕生と流域の形成 / 上・中・下流域の地質・地形と産業 / 流域の現在とこれから



大河編

2023年制作



公害編

2024年制作

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Sustainable Development Goals エスディー・ジーズ 持続可能な開発目標 (SDGs) とは？

持続可能でよりよい世界の実現を2030年までに目指す国際目標のことで、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択されました。

「安全な水…を世界中に」「質の高い教育をみんなに」など、左図に掲げられた17の目標(Goals)の達成により、「誰一人取り残さない」社会の実現に向け、すべての国々で取り組むべきとされています。

◀17のゴール(※18個目のアイコンは、SDGsを表すカラーホイール)

過去の作品(一部)のご紹介

展示を希望される方や団体には、無料で貸し出しております。詳しくは右記までお問い合わせください。

お問合せ先



一般社団法人
あがのがわ環境学舎

〒959-2221 新潟県阿賀野市保田 3866 番地 | TEL&FAX 0250-68-5424



H30 昭和30~40年代の日本、高度経済成長の光と影
～躍進する日本経済の陰で、四大公害が投げかけた問い～



H29 阿賀野川の川業が盛んだったあの頃
～川業の隆盛と衰退、新潟水俣病の影、阿賀野川の現在～



H28 阿賀野川上流域を巡る近代産業の変遷
明治・大正・昭和～近代産業がたどった光と影の縮図



H27 阿賀野川・光と影の近代ものがたり
～イザベラ・バードから近代産業まで～



H26 阿賀野川と銅山、ダム、そして高度成長の果てに
～大河と近代産業が織りなした光と影～



H25 阿賀野川と大地が織りなす光と影(後編)
～大河と共に生きてきた半農半漁の地域～



H24 阿賀野川と大地が織りなす光と影(前編)
～大河と共に生きてきた松浜・横越～



H23 阿賀野川と共に生きたあの頃
～風土と歴史が織りなす光と影～



H22 鹿瀬・昭和電工・阿賀野川
～光と影を織りなしてきた歴史～



H21 草倉銅山の光と影
～鉱山に魅せられた人々～

阿賀野川
えとこた
プロジェクト

正式名称「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」(略称「FM事業」)。阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」を紡ぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい流域づくり」を目指して始まったプロジェクト。